

<実証実験概要>

モビリティイノベーションによる移動に顔認証とアプリを組み合わせ、統合的社会サービスの重点ユースケースとしてキャンパスMaaSや医療MaaS実装に向けたコンセプト検証ならびに実証実験を筑波大学を中心とする地域で実施する。

○実験期間: 2020年1月～2020年2月

○参画する事業者等

茨城県、つくば市、筑波大学、関東鉄道(株)、
鹿島建設(株)、KDDI(株)、サイバーダイナミクス(株)、
日本電気(株)、三菱電機(株)

○MaaSアプリの構築・提供

<対象交通手段>

バス

<提供するサービス>

バスロケーション情報提供、人流情報収集(同意者に限る)

○特記事項

▽キャンパスMaaS

- ・顔認証を可能とする端末を活用したバス乗降決済
- ・AI利活用による人流・交通流予測
- ・乗車待機時間を最小化するバス運行の最適化支援システムの設計検討

▽医療MaaS

- ・バス乗降時の顔認証による病院受付、診療費会計処理サービス(今年度は模擬的環境にて実施)
- ・「つくばモデル」アプリ活用の交通弱者の乗降車支援

<展開エリアイメージ>



《筑波大学及びつくば駅周辺地区》

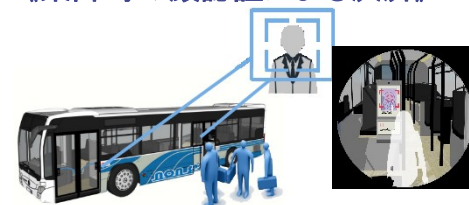
「つくばモデル」アプリ

《スマートフォン向け
「つくばモデル」アプリ》

公共交通の新たな社会サービス

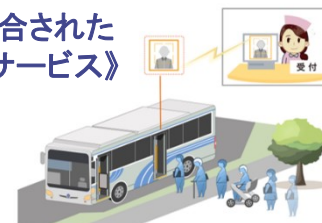
「キャンパスMaaS」

《乗降時の顔認証による決済》



「医療MaaS」

《移動と統合された
病院受付サービス》



《交通弱者のための
安全な移動》

